

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

記入日: 2021年 12月 30日
事業所名: 夢門塾ゆうゆう井原

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	4	1		利用定員は、毎月法的に準じて適切に対応している。学習室・多目的室・運動室に分かれており、指導訓練室のスペースは適切である。また、新型コロナウイルスの観点から、工作等の活動の際には、密にならないよう、部屋を分けるなど心掛けている。
	②	職員の配置は適切である	5			人員基準を満たしている。
	③	衛生面の管理が行き届いている	4	1		新型コロナウイルスの影響もあり、以前に比べて職員全体の衛生管理に対する意識が高まった。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	4	1		毎日の職員ミーティングにおいて話し合いをしている。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	5			保護者様の意見を把握し、職員全体で共有し業務改善に繋げるように努めている。
	⑥	自己評価の結果を公開している	5			保護者様の意見を把握し、職員全体で共有し業務改善に繋げるように努めている。
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	5			コロナ禍でもオンラインを活用し、職員全体に周知し参加するようにしている。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	5			契約時、保護者にアセスメントを行い、課題分析し、ケアカンファを行い個別支援計画を作成している。6ヶ月に1回面談(モニタリング)実施中。
	⑨	活動の計画をチームで行っている	5			ミーティングを行い活動計画を考案している。また、毎日のミーティングで、その日の流れなどを確認している。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	5			季節の行事を積極的に取り入れたり、毎日ミーティングを行い、利用者様に合わせた取り組みができるように話し合っている。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	5			職員全体ミーティングを毎月行い、課題を話し合い活動計画を考案している。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	5			子どもの状況に応じて、個別活動の子どもと集団活動が出来る子どもを適宜組み合わせ、活動を計画し実行している。
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			職員ミーティングをし、パート職員の勤務開始前に口頭又は書面にて職員間で打ち合わせし、支援内容や役割分担について確認している。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			個別記録を書く事を徹底している。翌日の職員ミーティングにおいて支援の検証・改善につなげ、全体で個別支援方法を統一している。
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	5			受給者証期間に合わせ、6ヶ月以内に1回は定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している。
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	5			職員全員入社時にガイドラインマニュアルを理解するように勉強会をし、基本活動を複数組み合わせる支援を行っている。

関係機関、保護者様との連携	⑰	学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5			連携を常に取り、情報共有している。
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	3	2		学校や相談支援事業所においては、必要な際に担当者会議を開き、情報共有している。 保育所や幼稚園との情報共有は出来ていない。
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	2	3		対象児童なし。
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1		定期的に、訪問や電話、会議等で相談支援専門員との連携を取っている。自立支援協議会に参加し、各専門機関との連携を取っている。
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	5			定期的な面談に加え、日常的に子どもの状況を伝えるため、利用時の連絡帳のやり取り、送迎時での保護者様との会話にて、児童の状況を共通理解するよう努めている。
保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	5			契約時に管理者 又 児童発達支援管理責任より説明を行っている。質問等あれば必要に応じて対応している。
	㉓	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	5			定期的な面談に加え、送迎時・来所時・電話等で対応している。
	㉔	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	1	4		昨年は新型コロナウイルスの影響により開催が難しかったが、保護者様からのニーズが高く、今年はオンラインなどを活用して開催をしていく。
	㉕	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			子どもや保護者様からの苦情があれば、迅速に対応し、必要に応じて相談支援専門員を含め対応している。
	㉖	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	5			毎月、お便り・月間行事企画書の発行、又ブログにて随時、活動公開している。
	㉗	個人情報保護に十分注意している	5			契約時に個人情報の説明を行っており、書面にて承諾の用紙を頂いている。
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			視覚支援の活用。連絡帳(コドモンシステムアプリ活用)
	㉙	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	1	4		例年は市民スポーツフェスティバル・西備支援学校福祉夏祭りに参加しているが、今年度については、コロナの影響により、行事が中止の為、参加が出来ていない。
	非常時などの対応	㉚	緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	5		
㉛		非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	5			年2回実施している。
㉜		虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			毎年、研修に参加している。
㉝		いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	5			重要事項説明書に記載がされており、契約時に、身体拘束が必要な場合の説明をしている。
㉞		保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	5			保護者様から頂いた、薬剤は職員全体で把握しており、服用後の薬袋を保護者様にお返しするようしている。また、その都度投薬用紙に記入・押印して頂き、実施している。
㉟		ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	5			毎日の職員ミーティングにおいて話し合い、改善点があれば、すぐに改善している。 また、書面にてヒヤリハットを記録している。
保護者様評価、自己評価についてまとめ						
<p>昨年に引き続き、新型コロナウイルスの影響が大きい1年であったが、日々のミーティングや情報共有を徹底し、昨年に比べて出来ることが増えた。研修や面談なども、オンラインを活用しながら行うことが出来た。しかし、アンケートの結果にも出ているように、保護者会の開催が困難であった。ニーズも高いため、今年はオンライン等を活用しながら取り入れていくなど、時代の流れに沿った支援が出来るよう努力していく。</p>						